TOSHIBA 東芝カラーCCDテレビカメラ取扱説明書

対象機種	TXD-V7401

このたびは、東芝カラーCCDテレビカメラをお買いあげいただきまして、まことにありがとうございました。
お求めのカラーCCDテレビカメラを正しく使っていただくために、この取扱説明書をよくお読みください。
なお、お読みになったあとは、必ず保存してください。

安全上のご注意

- ご使用の前に、この「安全上のご注意」をよくお読みのうえ、正しくお使いください。
- お読みになった後は本機のそばなど、いつも手元に置いてご使用ください。
- この取扱説明書および製品への表示では、製品を正しくお使いいただき、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、いろいろな絵表示をしています。その表示と意味は次のようになっています。内容をよく理解してから本文をお読みください。

⚠ 警告

この表示を無視して、誤った取扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。

⚠ 注意

この表示を無視して、誤った取扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

絵表示の例

△記号は注意（警告を含む）を促す内容があることを告げるものです。図のなかに具体的な注意内容（左図の場合は感電注意）が描かれています。

⊖記号は禁止の行為であることを告げるものです。図の中や近傍に具体的な注意内容（左図の場合は分解禁止）が描かれています。

●記号は行為を強制したり指示する内容を告げるものです。図の中に指示内容（左図の場合は電源プラグをコンセントから抜け）が描かれています。

⚠ 警告

〔据付、設置、接続、移動にあたっての注意〕

■通風のよい場所に設置してください。高温やほこりの多い場所に設置する場合は、必ずカメラケースに収納してください。また、特に温度、湿度が高くなる次のような場所には設置しないでください。火災、感電の原因となります。

- ●サウナや風呂場など。
- ●調理台や加湿器のそばなど油煙や湯気があたるような場所。
- ●電気、ガス、石油ストーブなどの暖房器具の真上やその付近。
- ●有害ガスやいろいろなほこりが特に多い所。

■この機器の通風孔はふさがないでください。通風孔をふさぐと、内部に熱がこもり、火災の原因となります。次のような使い方はしないでください。

- ●風通しの悪い狭い所におしこむ。
- ●テーブルクロスなどをかけたり、じゅーたんや布団の上に置いて使用する。

■天井または壁に取り付けるときは、総重量に耐えられる場所に設置してください。重量に耐えられないと使用しているうちに落下し、大変危険です。

工事店様へ 工事が終了しましたら、この説明書は必ずお客様へお渡しください。
お客様はお読みになったあとも必ず保存してください。

⚠ 警告

■この機器は改造しないでください。
火災、感電の原因となります。

〔使うときの注意〕
■この機器に水が入つたり、濡らさないようにご注意ください。
火災、感電の原因となります。

■この機器の上に花瓶、植木鉢、コップ、化粧品、薬品や水などの入つた容器や小さな金属物を置かないでください。
こぼれたり、中に入つた場合、火災、感電の原因となります。

■万一、機器の内部に水や金属物などが入った場合は、まず本体の同軸ケーブルをはずし、販売店にご連絡ください。
そのまま使用すると火災、感電の原因となります。

■万一、煙が出ている、変な臭いがする、異常な音がするなどの異常状態のまま使用すると火災、感電の原因となります。すぐに本体の同軸ケーブルをはずし、煙が出なくなるのを確認してから、販売店に修理をご依頼してください。

■万一、この機器を落としたり、キャビネットを破損した場合は、機器本体の同軸ケーブルをはずし、販売店にご連絡ください。
そのまま使用すると火災、感電の原因となります。

■雷が鳴りだしたら、本体には触れないでください。
感電の原因となります。

■この機器の通風孔から内部に金属類や燃えやすいものなどを差し込んだり、落としたりしないでください。火災、感電の原因となります。

〔据付、設置、接続、移動にあたっての注意〕
■ぐらついた台の上や傾いた所など、不安定な場所に置かないでください。
落ちたり、倒れたりしてけがの原因となることがあります。

■機器を接続する場合は、各々の機器の取扱説明書をよく読み、電源を切り、説明に従って接続してください。また、接続は指定のコードを使用してください。

■接続機器類のコードを抜くときは、コードを引っ張らないでください。コードが傷つき、故障の原因となることがあります。必ずプラグを持って抜いてください。

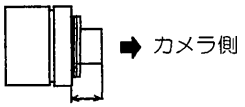
■この機器はマルチコントローラTSAM-F750等のNVP方式コントローラと組み合わせて使用できます。
VP方式コントローラ等、その他の機器とは接続して使用しないでください。
故障の原因となります。

〔使うときの注意〕
■使用中に突然映像や音が出なくなったなどの異常が生じたときは、すぐに同軸ケーブルをはずしてお近くの販売店にご相談ください。
そのまま放置しておくと、大変危険です。

⚠ 注意

■使用するレンズのマウント部からのレンズ凸部寸法は、
次のとおりとしてください。
CSマウントレンズ：6mm以下
Cマウントレンズ　：11mm以下
上記以上の寸法のレンズを取りつけますと、カメラの
フィルタ等に接触し、破損することがあります。

使用可能Cマウントレンズ



レンズ凸部寸法

〔お手入れ、保守、点検にあたっての注意〕

■1年に一度ぐらいは機器内部の掃除を販売店などにご相談ください。機器の内部にほこりのたまったまま、長い間掃除しないと火災や故障の原因となることがあります。特に、湿気の多くなる梅雨期の前に行うとより効果的です。

使用上のご注意

■本機に接続できるコントローラは、当社製の下記等の『NVP』多重方式のコントローラのみです。
その他のコントローラは、接続できません。
『VP』多重方式のコントローラには、接続できませんのでご注意ください。

接続適合コントローラ

マルチコントローラ	：	TSAM-F740　TSAM-F750 等
デジタルコントローラ	：	TSAM-R770 等
4 画面コントローラ	：	TSAM-730 等
1 局用コントローラ	：	TSAP-130 等

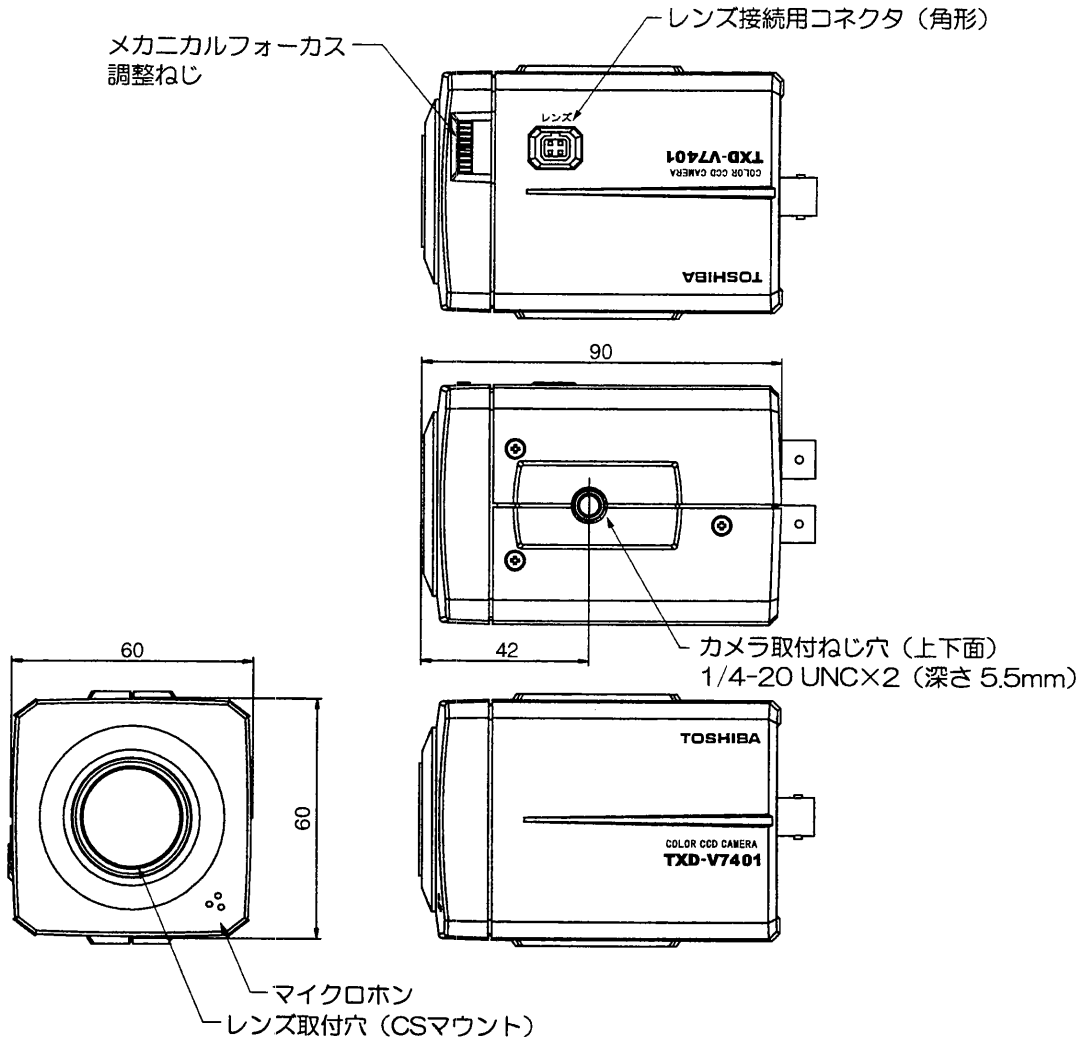
■本機に接続できる自動絞りレンズは、当社製の下記等の『角形』4P コネクタのレンズのみです。
その他のレンズと接続する場合は、レンズ接続のしかた（5 ページ）を参照してください。
『丸形』4P コネクタのレンズには、そのまま接続できませんのでご注意ください。

接続適合自動絞りレンズ

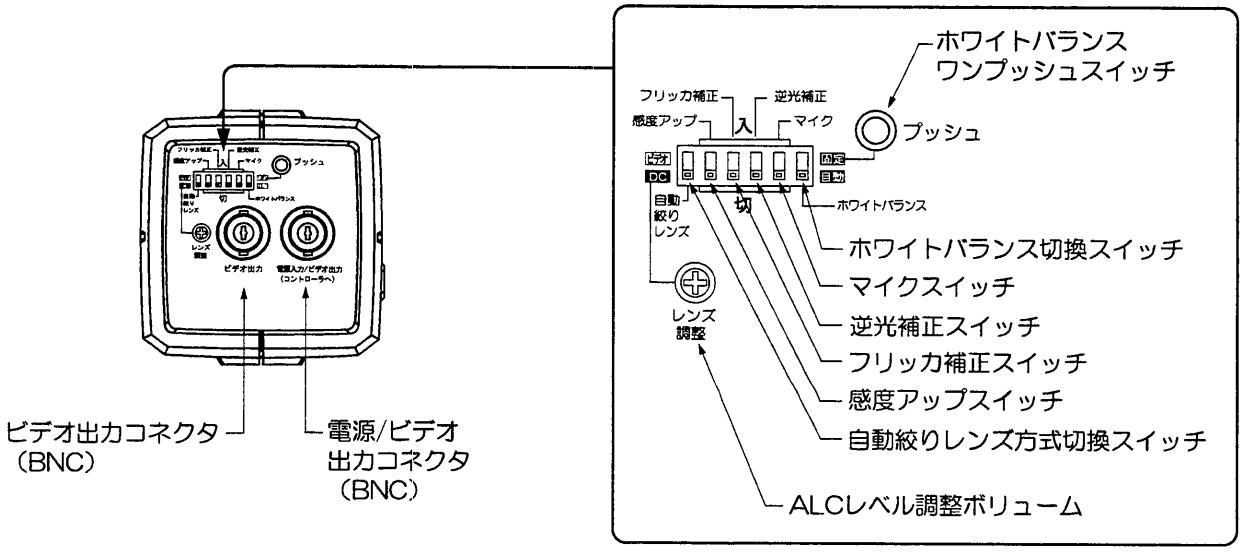
TLA-281CS	TLA-401CS	TLA-801CS	TLAV-3581CS
TLA-282CS	TLA-402CS	TLA-802CS	TLAV-3582CS
TLA-283CS	TLA-403CS	TLA-803CS	TLAV-3583CS
TLPA-401CS	TLR-381CSZ	TLR-581CSZ 等	

各部のなまえと大きさ

単位：mm



〔背面図〕



接続のしかた

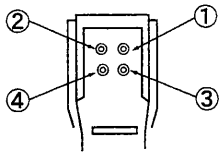
レンズの接続のしかた

● 本機に適合する自動絞りレンズは、次の仕様のレンズです。
サイズ：1／3インチサイズ
マウント：CSマウント（Cマウント）
マウント座面からのレンズ突出部寸法：6㎜以下
（Cマウントレンズは、11㎜以下）
カメラ接続コネクタ：角形4Pコネクタ
E4−191J−100
（中央無線）
（ピン配置：右図参照）

ピン番号	接続先	
	DC制御（EEアンプなし）レンズ	ビデオ制御（EEアンプ付）レンズ
①	コントロール（−）	電源　DC9V（最大30mA）
②	コントロール（+）	GND
③	ドライブ（+）	ビデオ信号
④	ドライブ（−）	GND

ご注意

● Cマウントレンズ使用時は、別売のCマウントレンズアダプタTLAD−5が必要です。



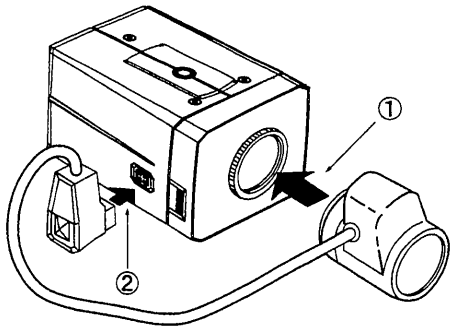
ピン配置（はんだ付側）

（1）DC制御（EEアンプなし）自動絞りレンズの接続のしかた

● 当社のレンズは、このレンズです。

①レンズをカメラ前面の取付穴にマウントします。
レンズのケーブルがカメラ右側面のレンズ接続コネクタに届くようにレンズのマウント位置を調整します。

（マウント調整方法は、レンズの取扱説明書をご参照ください。レンズをスリップ状態で反時計方向にもどす方法と手前に引いて回転させる方法等があります。）

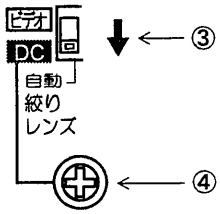


②レンズからの接続コネクタをカメラの右側面のレンズ接続コネクタに接続します。
③本機背面の自動絞りレンズ方式切換スイッチは、DC側（出荷時の状態）のままとします。
④レンズの絞りが適切でない場合は、レベル調整ボリュームで調整します。

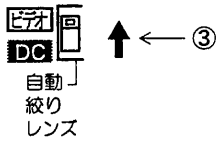
（2）ビデオ制御（EEアンプ付）自動絞りレンズの接続のしかた

● カメラ接続コネクタを上記の適合角形4Pコネクタ（ピン配置）としてください。

①レンズをカメラ前面の取付穴にマウントします。
②レンズからの接続コネクタをカメラの右側面のレンズ接続コネクタに接続します。
③本機背面の自動絞りレンズ方式切換スイッチは、ビデオ側に切り換えます。
④レンズの絞りが適切でない場合は、レンズ側のALCレベル調整ボリューム等で調整します。

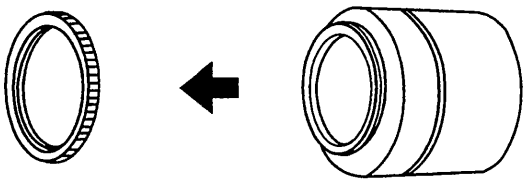


レンズ調整



（3）Cマウントレンズの接続のしかた

● カメラ接続コネクタを上記の適合角4P形コネクタ（ピン配置）としてください。
● レンズに別売のCマウントレンズアダプタ（TLAD−5）を取り付けた後、カメラにマウントしてください。


Cマウントレンズアダプタ（TLAD-5）　Cマウントレンズ

コントローラの接続のしかた

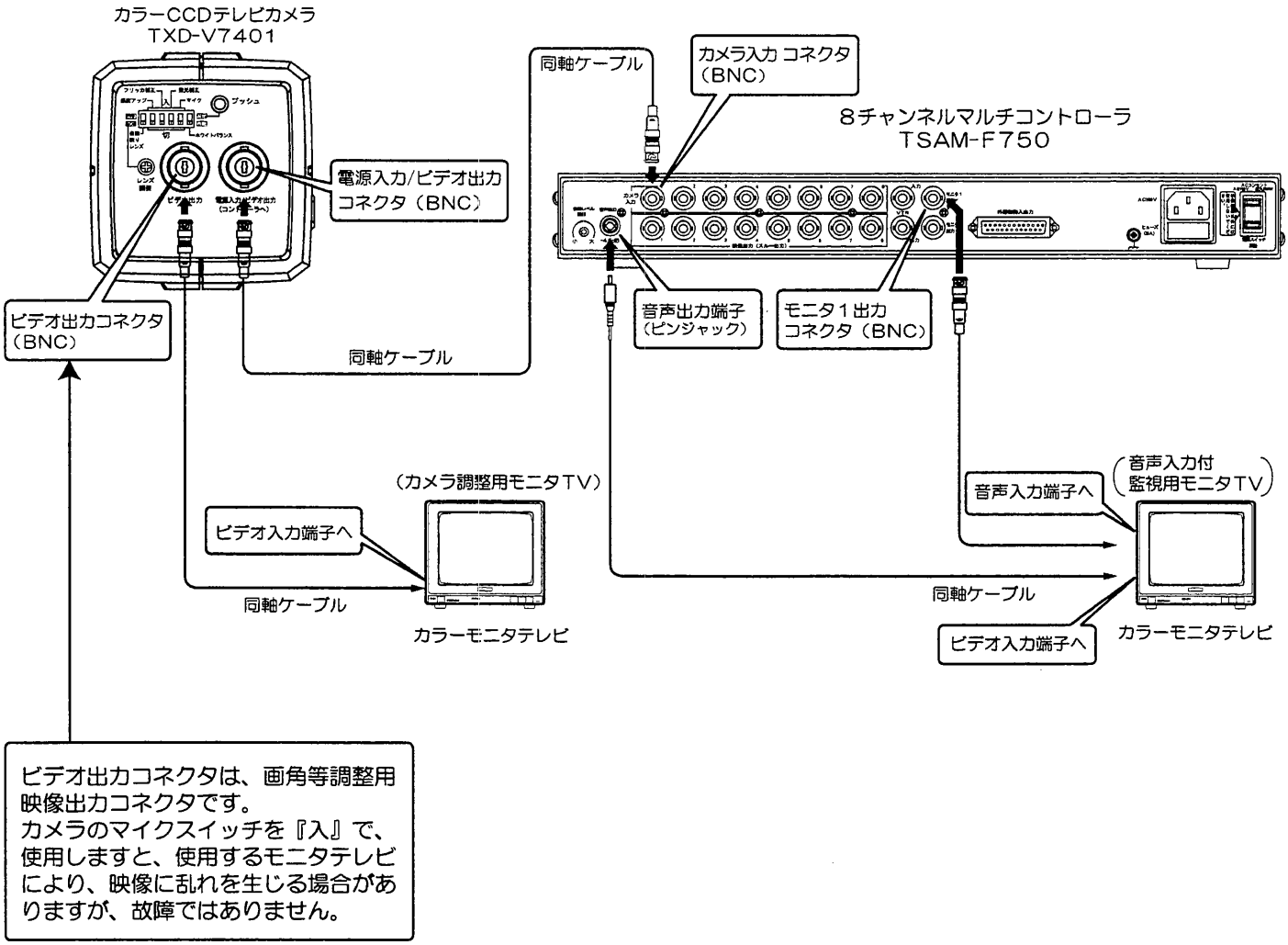
- 付属のＢＮＣコネクタを使用してカメラの電源／ビデオ出力コネクタとNVP方式のコントローラのNVPカメラ入力コネクタと接続します。
- 接続ケーブルは、同軸ケーブル（３Ｃ－２Ｖ、５Ｃ－２Ｖ）を使用してください。同軸ケーブルの最大配線距離は、右表のとおりです。

同軸ケーブル	最大配線距離
３Ｃ－２Ｖ	２００ｍ
５Ｃ－２Ｖ	５００ｍ

ご注意

- カメラとコントローラの接続の途中にはケーブル補償器、映像分配器等を接続することはできません。

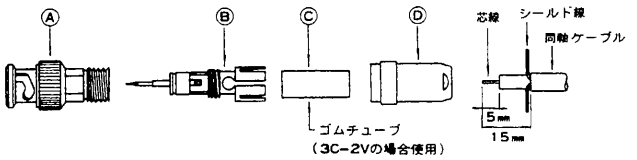
８チャンネルマルチコントローラとの接続例



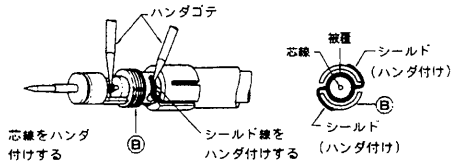
ビデオ出力コネクタは、画角等調整用映像出力コネクタです。
カメラのマイクスイッチを『入』で、使用しますと、使用するモニタテレビにより、映像に乱れを生じる場合がありますが、故障ではありません。

BNCコネクタ（付属品）と同軸ケーブルの接続のしかた

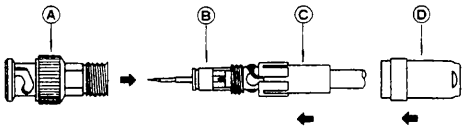
●付属のBNCコネクタを図Ⅰのように Ⓐ ～ Ⓓ に分解し、Ⓓ、Ⓒ（3C-2Vの場合使用）を同軸ケーブルに通します。
●同軸ケーブルの先端から15㎜のところまで外皮をナイフで取り除きます。
●シールド線は2等分してよりあわせ、芯線は5㎜出るよう絶縁物を取り除きます。（図Ⅰ）
●Ⓑ を同軸ケーブルに通し図Ⅱのようにシールド線をⒷにまきつけシールド線、芯線を各々ハンダ付けします。
●図Ⅲのように Ⓑ と同軸ケーブルの間に Ⓒ を通しスパナで Ⓐ を Ⓑ にねじ込み次に Ⓐ に Ⓓ をねじ込んで固定して完了です。（図Ⅳ）



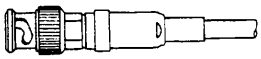
図Ⅰ



図Ⅱ



図Ⅲ

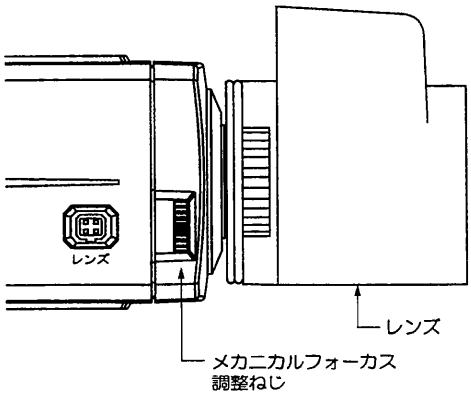

図Ⅳ

使いかた

●テレビカメラに接続したコントローラの電源を入れますと、カメラへ電源が供給され、モニタテレビに出画します。
●モニタテレビを見ながらレンズの焦点リング等を調節して、ピントを合わせてください。

バックフォーカスの調整について

●出荷時バックフォーカスは調整されていますが、被写体に接近して映す場合等、レンズ側でピント調整ができない場合は、本機カメラ右側面のメカニカルフォーカス調整ねじを回して調整してください。

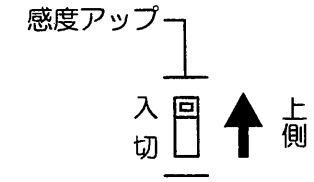


感度アップについて

●被写体の照度が十分でなく、感度をアップしたい場合は、本機背面の感度アップスイッチを『入』（上側）に切換えてください。
（出荷時は、『切』（下側）にセットしてあります。）

ご注意

●感度アップスイッチを『入』にしますと映像にノイズが目立つ場合がありますが故障ではありません。

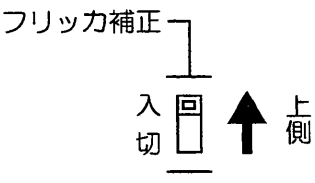


照明フリッカの低減について

●電源周波数が５０Hz 地域の照明下で使用した場合、モニタ画面上で明るさのちらつきが目立つことがあります。これは照明の点灯周波数（５０Hz）と本機カメラの映像周波数（６０Hz）とのずれによるちらつきです。
●この場合本機背面のフリッカ補正スイッチを『入』（上側）に切換えてください。ちらつきが低減します。
（出荷時は、『切』（下側）にセットしてあります。）

ご注意

●フリッカ補正スイッチを『入』に切り換えると電子シャッタースピードが1／100に設定されますので感度が若干低下します。



＜生産完了＞TXD-V7401 (7 / 11)

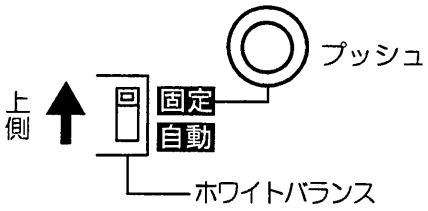
逆光となる場合について

● 逆光のため被写体が暗くなり明瞭に映らない場合は、本機背面の逆光補正スイッチを『入』（上側）に切換えてください。
（出荷時は、『切』（下側）にセットしてあります。）

ご注意

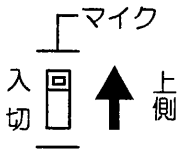
● 逆光が強い場合は十分な効果がない場合があります。

ホワイトバランスを固定する場合



● ホワイトバランスは、出荷時、自動に設定されていますが、光源が一定で変化しない場合は、固定設定にできます。
● まず、本機背面のホワイトバランススイッチを『固定』（上側）に切換えてください。
（出荷時は、『自動』（下側）にセットしてあります。）
次に、レンズの前に白いもの（紙等）を画面全体に映るように置いて、本機背面のプッシュスイッチを小形のマイナスドライバー等で押してください。この時点でセットされ、電源を切っても設定が保持されます。

マイクについて



● 本機は、マイクを前面に内蔵しています。
● 音声対応機能付コントローラ（ＴＳＡＭ−Ｆ740，ＴＳＡＭ−Ｆ７５０等）に接続した場合は、音声回路付モニタテレビによる音声モニタができます。
● この場合本機背面のマイクスイッチを『入』（上側）に切換えてください。
（出荷時は、『切』（下側）にセットしてあります。）

ご注意

● 音声対応機能付コントローラ以外に接続した場合は、必ずマイクスイッチを『切』（下側）にしてください。
『入』で使用すると映像に乱れを生じる場合がありますのでご注意ください。

ちょっとお調べください

症状	調べるところ	処置
映像が出ない。	●接続しているコントローラは、弊社製のNVP方式のコントローラですか？	➡ コントローラの取扱説明書を確認してください。 VP 方式のコントローラは、接続できません。
	●本機背面の電源／ビデオ出力コネクタとコントローラの NVP カメラ入力が接続されていますか？	➡ 接続を確認してください。 （電源／ビデオ出力コネクタ：正 ビデオ出力コネクタ：誤）
	●コントローラの電源『入』の状態で、本機と接続しませんでしたか？	➡ コントローラの電源を『切』、５秒後に『入』にしてください。
	●自動絞りレンズの場合、レンズからの接続コネクタが本機に接続されていますか？	➡ 本機左側面のコネクタに確実に接続してください。取扱説明書（5 ページ）を参照してください。
	●接続しているコントローラおよびモニタテレビの操作、初期設定、接続等が適切ですか？	➡ コントローラおよびモニタテレビの取扱説明書を確認してください。
映像が全体に明るすぎたり、暗すぎたりする。	●DC制御の自動絞りレンズの場合本機背面のレベル調整が適切ですか？	➡ 本機背面のレベル調整ボリュームを調整してください。取扱説明書（5 ページ）を参照してください。
	●DC制御の自動絞りレンズ以外の場合、レンズの絞りの調整が適切ですか？	➡ レンズ側で絞りの調整をしてください。レンズの取扱説明書を参照してください。
映像が乱れる。	●本機、接続しているコントローラ、モニタテレビ等の接続コネクタがゆるんだり、接触不良になっていませんか？	➡ 接続を確認してください。
音声が出ない。 音声が小さい。	●本機背面のマイクスイッチが『入』に設定してありますか？	➡ マイクスイッチを『入』に設定してください。
	●接続しているコントローラの音声に関する設定、モニタテレビとの音声ラインの接続が適切ですか？	➡ コントローラ等の取扱説明書を確認してください。

<生産完了>
TXD-V7401 (9 / 11)

仕　様

電　　源	専用コントローラより定電圧DC電源を供給 （注1）	最　低　照　度	1 lx（F1.4，感度アップ時）
		推　奨　照　度	100 lx（F1.4）
適合コントローラ	NVP方式コントローラ TSAM-F740，TSAM-F750， TSAM-R770，TSAM-730 TSAP-130等　（注1）	S／N	48dB以上
		ホワイトバランス	自動／固定（ワンプッシュ） （スイッチ切換）
		ケーブル延長距離 （カメラ・コントローラ間）	500m（5V-2V使用時） 200m（3V-2V使用時）
適合自動絞りレンズ	TLA-281CS，TLA-401CS TLA-801CS，TLAV-3581CS TLA-282CS，TLA-402CS TLA-802CS，TLAV-3582CS TLA-283CS，TLA-403CS TLA-803CS，TLAV-3583CS TLAP-401CS，TLR-381CSZ TLR-581CSZ等　（注2）	フ リ ッ カ 補 正	あり（スイッチ切換）
		逆　光　補　正	あり（スイッチ切換）
		感　度　ア　ッ　プ	あり（6dBアップ，スイッチ切換）
		内蔵マイクロホン	無指向性エレクトレットコンデンサ マイクロホン
		マイクロホン感度	−43dB（0 dB＝1V／Pa，1kHz） [−63dB（0 dB＝1V／μbar，1kHz)]
消　費　電　力	約3.6W	外　　観	ABS樹脂
撮　像　素　子	1／3サイズカラーCCD 有効画素数；約25万画素 510(H)×492(V)	外　観　色	ホワイト （マンセル　5GY8／0.5近似色）
		使 用 周 囲 温 度	−10℃〜50℃
レンズマウント	CSマウント	外　観　寸　法	幅60mm　高さ60mm　奥行90mm （突起部を除く）
同　期　方　式	内部同期		
走　査　方　式	2：1インターレース	質　　量	約300g
走 査 周 波 数	水平：15.734kHZ 垂直：59.94HZ	付　　属　　品	BNCコネクタ（3C-2V，5C-2V用）‥2 取扱説明書 ‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥ 1 東芝お客様ご相談センター一覧表‥‥‥ 1
映　像　出　力	VBS：1.0V(p-p)／75Ω		
解　　像　　度	水平：330TV本 垂直：350TV本		

（注1）定電圧DC電源供給方式を弊社では、NVP方式と呼んでいます。従来の定電流DC電源供給方式（VP方式）コントローラ（TSAM-F74、F75等）に接続はできません。
（注2）自動絞りレンズ用接続コネクタは、角形4Pコネクタです。

<生産完了>

保証とアフターサービスについて

保証について

保証の内容は、下記のとおりとさせていただきます。

保　証　期　間	保証期間は、お買い上げの日から１年間です。
保　証　内　容	取扱説明書、本体貼付ラベル等の注意書に従った使用状態で保証期間内に故障した場合には、無償修理をさせていただきます。
保証の免責事項	保証期間内でも次の場合には原則として有料にさせていただきます。 （１）使用上の誤り及び不当な修理や改造による故障及び損傷 （２）お買上げ後の取付場所の移設、輸送、落下などによる故障及び損傷 （３）火災、地震、水害、落雷、その他天災地変、異常電圧、指定外の使用電源（電圧、周波数）などによる故障及び損傷 （４）車両、船舶等に搭載された場合に生ずる故障及び損傷 （５）施工上の不備に起因する故障や不具合 （６）法令、取扱説明書で要求される保守点検を行わないことによる故障及び損傷 （７）日本国内以外での使用による故障及び損傷

修理を依頼されるとき

１．保証期間中は

万一故障がおきた場合は、お買上げ日を特定できるものを添えてお買上げの販売店（工事店）までお申し出ください。

２．保証期間を過ぎているときは

お買上げの販売店（工事店）にご相談ください。修理によって機能が維持できる場合は、ご希望により有料修理をさせていただきます。

アフターサービスについてご不明な点は

修理に関する相談ならびにご不明な点は、お買い上げの販売店（工事店）または東芝お客様ご相談センターにお問い合わせください。

東芝ライテック株式会社 システム事業部 〒140-8660 東京都品川区南品川2丁目2番13号（南品川JNビル）TEL(03)5463-8779

お客様はお読みになったあとも必ず保存してください。

＜生産完了＞TXD-V7401 (11 / 11)